

令和7年2月21日（金）岐阜県発表資料		
担当課・係	担当者	電話番号
各務原市 観光交流課 観光振興係	野田 河瀬	直通 058-383-9926 FAX 058-389-0765
航空宇宙産業課 企画連携係	伊藤 武邑	内線 3765 直通 058-272-8837 FAX 058-278-2653
岐阜かがみがはら航空宇宙博物館指定管理者 （公財）岐阜かがみがはら航空宇宙博物館	森 石原	直通 058-386-8500 FAX 058-386-9912

そらはく
空宙博企画展

「飛行場の町 各務原が育てた技術者と産業」を開催します

岐阜かがみがはら航空宇宙博物館（愛称「空宙博」）では、春の企画展として航空機産業と歩んだまちづくりや技術者教育の歴史に着目した「飛行場の町 各務原が育てた技術者と産業」を開催します。

会期中、講演会などの様々な関連イベントも開催しますので、この機会に、ぜひ空宙博へお越しください。

記

1 開催期間

令和7年3月22日（土）～6月1日（日）

2 企画展「飛行場の町 各務原が育てた技術者と産業」の概要

草原の地から航空宇宙産業都市へと成長した各務原市のまちづくりの歴史や、まちの発展に大きな役目を担った航空技術者教育の変遷を、青年たちが学んだ技能者養成所の教室の再現や当時使用していた教材、航空機部品等の展示とともに紹介します。

3 主な展示物

①星型エンジンマウント（初公開）

戦前の航空機のエンジンを固定する部品。各務原で飛行していた一式戦闘機「隼」のものと推定される。



②各務野を砲術稽古場とした前渡坪内氏の記録

江戸時代に各務原の前渡地域を治めていた、旗本 ^{まえど}前渡坪内氏の記録。



③飛燕のプロペラスピナー

終戦後に飛燕の部品が生活用品に転用され、くず入れとして使用されたもの。



④技能者養成所ノート

戦前の技能者養成所で使用されていた、現在の数学や理科にあたる教科ノート。



4 関連イベント

(1) 講演会【各回定員：140名 会場：空宙博1階 シアタールーム】

①「『^{えんたいごう}掩体壕※』って何？～各務原市に残る戦争遺跡～」

講師：各務原市教育委員会文化財課長 ^{にしむら かつひろ}西村 勝広 氏

開催日時：3月22日（土）13：30～14：45

※掩体壕…軍用機などの装備・物資や人員を敵の攻撃から守るため、コンクリートなどで造った横穴状の施設



②「The Cockpit～航空機の操縦席の変遷～」

講師：元航空自衛隊パイロット ^{みね よしてる}三輪 芳照 氏

開催日時：4月12日（土）13：30～15：00



③「岐阜県各務原の地での宇宙産業の展開とチャレンジ」

講師：元宇宙機器エンジニア ^{ふくの いちろう}福野 一郎 氏

開催日時：4月20日（日）13：30～14：45



④「船のまちと飛行機のまち～違うけど似ている呉市と各務原市～」

講師：呉市海事歴史科学館（大和ミュージアム）

学芸員 ^{くぼ たけし}久保 健至 氏

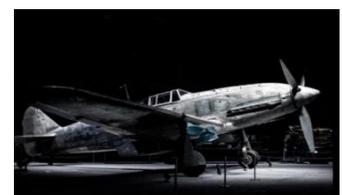
開催日時：5月25日（日）

<第一部> 13：30～14：40

講演会

<第二部> 14：50～15：30

空宙博学芸員とのパネルディスカッション



(2) ギャラリートーク ※予約不要

開催日時：3月22日(土) 15:00～15:30

4月29日(火・祝) 10:30～11:00、11:30～12:00

5月3日(土・祝) 10:30～11:00、11:30～12:00

開催場所：1階スペースボックス

内容：各務原市文化財課職員が企画展の裏話や展示内容について分かりやすく解説します。

(3) 見学会 各務原と飛行場の歴史が詰まった山・前渡不動山見学ツアー

開催日時：4月26日(土)、5月10日(土)

9:30～12:00

開催場所：空宙博正門集合(前渡不動山まではバスで移動)

内容：各務原市歴史民俗資料館の学芸員の案内で、前渡不動山にある「承久の乱合戦供養塔」や「掩体壕」などの史跡と本企画展を見学するバスツアー



定員：各回20名

参加費：無料(別途、空宙博入館料が必要です)

※講演会、教室・イベントの詳細や予約の要否は空宙博HPでご確認ください。

※各講演会・イベントは未就学児も親子で参加可能です。

※予約可能なプログラムは、同HP「イベント申込」の、「空宙博予約サイト」(外部サイト)からお申込みください。

空宙博HP <https://www.sorahaku.net>